

もっと学びたい人へ (8)



名詞クラスについて、人間や動物の属性を持つ名詞に関わる語には、所属クラスに関係なくクラス 1/2 のシルシが使われると、第 8 課で説明しましたね。

- ng'ombe **wa** Nozomi 〈のぞみの牛〉
(クラス 9) (クラス 1)

- ndege **wangu** 〈私の鳥〉
(クラス 9) (クラス 1)

- samaki **huyu** 〈この魚〉
(クラス 9) (クラス 1)

しかし、人間の属性を持つ名詞であるにも関わらず、クラス 1/2 のシルシを採らない名詞もあるのです。ここでは、そのような名詞について見ておきましょう。



それから、名詞クラス 11 の抽象名詞についても、ここで一緒に見ておきましょう。



◆ ‘rafiki yangu’

‘rafiki’〈友人〉は、クラス 9 の名詞です。もちろん人間ですね。先にも述べた、「人間や動物の性質を持つ名詞に関わる語には、所属クラスに関係なくクラス 1/2 のシルシが使われる」という規則に従うと、〈私の友人〉は‘rafiki **wangu**’となるはずですが、そうはなりません。〈私の友人〉は、‘rafiki **yangu**’となるのです。‘yangu’はクラス 9 の形ですね。

rafiki **yangu** 〈私の友人〉
(クラス 9) (クラス 9)

〈私たちの友人〉も‘rafiki yetu’、〈あなたの友人〉も‘rafiki yako’、〈あなたたちの友人〉も‘rafiki yenu’、〈彼(女)の友人〉も‘rafiki yake’、〈彼(女)たちの友人〉も‘rafiki yao’となり、‘rafiki’〈友人〉に関わる語にクラス 9 の形が用いられます。

ただし、少しややこしいですが、例えば〈のぞみの友人〉は‘rafiki wa Nozomi’となります。‘=a’〈の〉の形では、「人間や動物の性質を持つ名詞に関わる語には、所属クラスに関係なくクラス 1/2 のシルシが使われる」という規則がそのままはたらくのです。また、〈この友人〉も‘rafiki huyu’となり、‘h=’〈この/これ〉、‘h= o’〈その/それ〉、‘=le’〈あの/あれ〉、‘=pi’〈どの/どれ〉の形でも所属クラスに関係なく、人間や動物の性質を持つ名詞の場合にはクラス 1/2 のシルシが用いられます。注意してくださいね。

rafiki **wa** Nozomi 〈のぞみの友人〉
(クラス 9) (クラス 1)

rafiki **huyu** 〈この友人〉
(クラス 9) (クラス 1)

他にも以下のような名詞が、人間の属性を持つ名詞であるにも関わらず、〈私の〉、〈私たちの〉、〈あなたの〉、〈あなたたちの〉、〈彼(女)の〉、〈彼(女)たちの〉が、クラス 1/2 のシルシではなく、所属クラスに従ったシルシを採ります。

((例))	baba yangu	〈私の <u>父</u> 〉
	mama yangu	〈私の <u>母</u> 〉
	babu yangu	〈私の <u>祖父</u> 〉
	bibi yangu	〈私の <u>祖母</u> 〉
	kaka yangu	〈私の <u>兄</u> 〉
	dada yangu	〈私の <u>姉</u> 〉
	ndugu yangu	〈私の <u>きょうだい</u> 〉

‘rafiki’〈友人〉は別として、以上は全て親族の名称ですね。〈私の〉などの語が所属クラス通りのシルシを採るのは、親族名称に多いようです。

◆ 抽象名詞(名詞クラス 11)

名詞クラス 11 の名詞のシルシ‘u-’は、抽象名詞を作ります。ここで例を見ておきましょう。

((例))

ukubwa	〈大きさ〉	< - kubwa	〈大きい〉
udogo	〈小ささ〉	< - dogo	〈小さい〉
umoja	〈一つであること, 統一〉	< - moja	〈一つの〉

uzuri	〈よさ〉	< - zuri	〈よい〉
ubaya	〈悪さ〉	< - baya	〈悪い〉
utu	〈人間性〉	< mtu	〈人〉

これらの抽象名詞を名詞クラス 11 の語とは別にして、名詞クラス 14 とする文法書もあります。ただし、抽象名詞を名詞クラス 14 とした場合も、語形ならびに関わる語の語形は名詞クラス 11 と全く同じになります。

◆ 国名

国名を表わす語には、名詞クラス 11 の名詞のシルシ‘u-’を採ったものもあります。

((例 1))	Uingereza	〈イギリス〉
	Ufaransa	〈フランス〉
	Ujerumani	〈ドイツ〉
	Utaliana	〈イタリア〉
	Uhispania	〈スペイン〉
	Ureno	〈ポルトガル〉
	Urusi	〈ロシア〉

ただし、全ての国名が‘u-’から始まるわけではありません。その他の幾つかの国名についても見ておきましょう。

((例 2))	Tanzania	〈タンザニア〉
	Kenya	〈ケニア〉
	Japani	〈日本〉
	Korea	〈韓国〉
	China	〈中国〉
	Misri	〈エジプト〉
	Marekani	〈アメリカ〉

‘China’ 〈中国〉は、うっかり「チャイナ」と、英語読みしてしまいそうになりますが、「チナ」と発音します。気をつけて下さいね。

もう一つ、注意しておかなければならないことがあります。‘u-’を採る国名は、たとえ例 1 のように名詞クラス 11 の名詞のシルシを付けていても、関わる語はみな名詞クラス 9 の形になります。これは、‘nchi’ 〈国〉という語や、他の‘u-’を採らない国名がみな名詞クラス 9 の語であるため、国名はすべて名詞クラス 9 であるという暗黙のルールがはたらくことによります。

... ❀

